

・三位一体後第十七主日

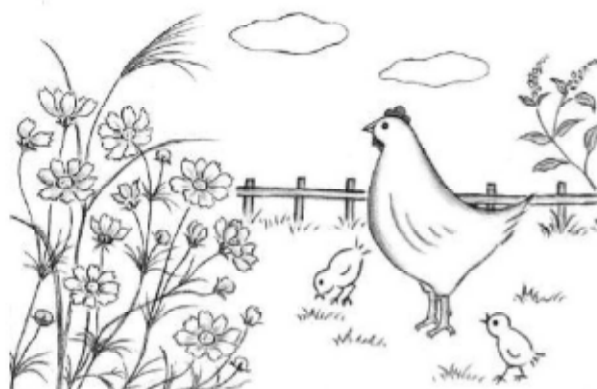
泉のほとり

今月の詩編「第十六編」

わたしは主をたたえます。

主はわたしの思いを勵まし

わたしの心を夜ごと論してくださいませ。



罪を取り去るために

しばらく前に、マルコによる福音書第一二章が伝える「ぶどう園と農夫のたとえ」の説教がされました。主人が苦勞してぶどう園を造り、それを農夫に委ねて旅に出ます。収穫の時期に僕を送って分け前を受け取ろうとしますが、農夫たちは渡しません。他の僕も、叩かれたり、侮辱されます。

この話を聞きながら、ああこれはわたしたちのことだと思いました。献金のたびに「主よ、すべてはあなたからいただいたものです。わたしたちはあなたから受けたものを差し出すに過ぎません」と言います。自分の命も体も、いただいたものです。でもわたしたちは、あれも自分のもの、これも自分のもの、と考えます。神さまが語ってくださるみ言葉に対しても、ちゃんと答えずに、聞き流すことが多いです。

こういう罪のために、昔は動物が犠牲になりました。自分が神さまの御心に背くと、大切に育てた動物が死ぬのです。それと共に年に一度、大祭司が神殿の一番奥の部屋に、動物の血を持って入り、神殿に來られない人たちの罪の赦しを願いました。血を流さずに、罪が赦されることはないことを、神さまはこのようにしてイスラエルに教えてくださったのです。

でも今わたしたちは、動物の犠牲は献げません。主イエスが十字架で血を流してください、わたしたちの罪の赦しを勝ち取ってくださいだからです。

それだけではありません。主イエスは今、天に帰られ、神さまの右におられるのです。

今日の箇所、地上の神殿で行われることは、天で行われることの写しだと言われています。わたしたちが礼拝の中で罪の告白をして赦しを願う時に、天では主イエスが、神さまに、わたしたちの罪の赦しを願ってくださいます。そのようにしてわたしたちが、罪から自由になって生きられるようにしてくださいませ。

罪の赦しとは、悪いことを勘弁するという意味ではありません。神さまに造られながら、神さまに背いて、あれもこれも自分のものだと言いながら生きて、死んで滅んでしまおうわたしたちが、神さまのもとへ帰れるように、道を拓いてくださることです。主はわたしたちがいつでも神さまのもとへ帰れるようにしてくださいませ。

神さまの願いは、わたしたちが神さまと共に生きることです。共に生きられるように、わたしたちを人間として神さまの形に造ってくださいました。神さまに背いたわたしたちのために、赦しの道を拓いてくださいました。だからもうわたしたちは、あれもこれも自分のものだと言いつつ生きる必要がありません。わたしたち自身も持ち物もすべてが、神さまからいただいたもの、神さまのものであることを感謝して、神さまと共に生きることができるようになります。

詩編を読むときに

主よ、

わたしが詩編を読むときに、

あなたの歌声を聞かせてください。

わたしがみ言葉を読むときに、

あなたの語りかけを、

聞かせてください。

わたしがその意味を思い巡らすときに、

あなたの姿を見させてください。

そして、

わたしがみ教えを生きようと求めるときに、

わたしの心を喜びで満たしてください。

平野克己著 「祈りのともしび」より

グレゴリオスの祈り

わたしの呼吸のすべてが

神よ、

あなたご自身が、

わたしのすべての愛、

わたしのすべての望み、

わたしのすべての志となってください。

わたしの思いと行いとが、

あなたより来たり、

日々の生活があなたのうちにあり、

わたしの呼吸のすべてが

あなたのためのものとなりますように。

アーメン

平野克己著 「祈りのともしび」より

J・カッサアヌスの祈り

今日のお知らせ

○礼拝の中で、六月に誕生された、河瀬さんと家族の長女・真莉さんの祝賀式をします。

○今日から一〇月二四日まで、日曜日の礼拝が一時的から一回だけになります。その間、ぶどうの会とコーヒーサービスはお休みします。

○今日から礼拝後、一斉にバザー準備に入ります。礼拝後、着替えて、一一時二〇分にホールにお集まりください。祈って、バザーの準備を始めます。まだ自分の店の作業がない方は、他の店を手伝っていただけると感謝です。

○クリスマス礼拝で受洗・転入会をご希望の方は、今日中に入信記を牧師までお出しください。なお入信記に、メールアドレスか電話番号を書き添えてください。

○今週二七日(木)午前一〇時半から牧師室でシオンの会を開きます。今週は最後の第五二主日のところですが、新しい方々を歓迎します。

○附属幼稚園のホームページ(HP)ができました。アドレスは <https://shinagawa-yochien.com> 「グローリアチャペル」のHPから「附属幼稚園案内」ページに入ってください。公式ウェブサイトをクリックすると開きます。どうぞご覧ください。

ケニアだより

教師のトレーニング

ケニアの学校制度が大きく変わりました。と
いうより変わろうとしています。30数年間試
験中心の学校教育でした。学校の評価、教師の
評価、もちろん生徒の評価もすべて試験の結果
によるものでした。しかしそのために、考える
力を育てず、暗記のみが求められる。成績さえ
よければよい人間だという人格形成のできない
教育という大きな社会問題となってきました。
政府は思い切った改革を実行し、試験中心では
なく、生徒中心のクラス運営とカリキュラム、
人格形成、考える力、創造性と想像力を養う教
育を目指すことになったのです。2018年1
月から、幼稚園の年中から小学校3年生までは
このカリキュラムに切り替わりました。

しかし、教育の現場では多くの混乱が起こっ
ています。試験の結果で生徒を見ていた教師た
ちが生徒一人一人を知り、生徒を中心とした教
育に切り替えることができないのです。どうし
てよいかわからずお手上げ状態です。政府が主
導する教師トレーニングは新しいカリキュラム
の理論の説明のとどまり、具体的に日々のクラ
ス運営を要革することが困難な状況です。

キユーナ幼稚園、コイノニア教育センターは生

徒中心のクラス運営、アクティブラーニング
を取り入れたカリキュラムをしてきましたか
ら、この変化には全く問題なく、この新しい
改革を歓迎しています。

この状況の中で、いくつかの学校の校長先
生から、教師向けのセミナーをやって、助け
てほしいとの要望が寄せられました。この要
望に応じて、7月の3回の土曜日にキユーナ
幼稚園において、教師のセミナーを開催しま
した。どのようにして一人一人の生徒を理解
し受け入れるか、そのための具体的なプログ
ラムの提案、体験学習してもらいました。
プロジェクト・アプローチや人格形成の助け
になる、ツールを紹介しました。クラスをど
のようにディスプレイして子どもたちの意欲
を盛り立てるかなど、これまでのケニアの先
生たち自身が体験したことのない授業のやり
方を伝えました。

講師は、キユーナとコイノニアの先生たち
です。これまで自分たちが苦労しながら築き
上げてきたものを分かち合うことになりました。
た。伝えることで新たに学ぶ経験をしました。

(市橋さくら記)

聖書の会へどうぞ

9月26日(水)

●朝の聖書の会(10時)

・同行していたのは一

使徒20章1〜6節

黄允湜副牧師

●聖書の夕べ(19時)

主の死は主の勝利

ルカ23章14〜49節

吉村和雄牧師

ミニコンサート

10月28日(木) 12時30分より

ヴァイオリン独奏 中川あんな

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ1番

「アダージョ」他

次週礼拝

●一回礼拝(午前10時00分)

讃美歌 301番 讃21 361番

説教「成熟を目指して進もう」

聖書ヘブライ6章1〜12節

説教者 吉村和雄牧師





一回礼拝 (午前10時)

讃美歌 301番

讃21 361番

説教 「苦しむことを喜びとして」

聖書 コロサイ1章21～29節(新約 P369)

司式 森洋之 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「アレグレット・ジオコーツ」 G.F.ヘゲル

○讃美歌 301番

1. 山べにむかいてわれ 目をあぐ
助けはいずかたより きたるか
あめつちのみかみより たすけぞわれにきたる
2. み神はなれの足を つよくす
み守りあればなれは うごかじ
みたみをば守るもの まどろみねむりまさじ
3. み神はあだをふせぐ たてなり
ながみをつねに守る かげなり
よるは月、ひるは日も なれをばそこなうまじ
4. み神はわざわいをも さけしめ
疲れしたましいをも やすます
いずるおり、いるおりも
たえせずなれを守らん アーメン

○テノールによる讃美

「まことのかいぬし」 C.グノー

○聖歌隊による讃美

「主は避けどころ」 A.ゴッ

主は避けどころ 悩める時の助け
地は変わり 山は海にうつれど 我らに恐れなし
河の流れ 神の都を喜ばせる



聖なる住まいを 喜ばせる
御神はみ言 我らはその手
命は主の息 我らはその歌 その歌

主は避けどころ 悩める時の助け
地は変わり 山は海にうつれど 我らに恐れなし
来たりて御業見よ 主の御業を
都は揺るがず揺るがず 御神はみ言 我らはその手
命は主の息 我らはその歌 その歌
主は避けどころ 悩める時の助け
地は変わり 山は海にうつれど
我らに恐れなし 恐れなし 恐れなし

○讃21 361番

1. この世はみな 神のせかい
あめつちすべてが 歌いかわす
岩も木々も 空も海も
み神のみわざを ほめたたえる
2. この世はみな 神のせかい
鳥の音 花の香 主をたたえる
朝日 夕日 空に映えて
み神のみわざを 語り告げる
3. この世はみな 神のせかい
悪魔の力が 世に満ちても
わか心に 迷いはなし
主こそがこの世を治められる アーメン

聖餐曲 「ソナタニ短調より」 B.メンデルソフ

後奏曲 「協奏曲イ長調」 G.F.ヘゲル

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ち下さい。